

アルツハイマー病の 現状と治療戦略



— 2015 —
11/16
[MONDAY] 16:30-

立命館大学
びわこ・くさつキャンパス
エポック立命21, 3階

講演会 **K310教室**
16:30-18:00

交流会 **K309教室**
18:00-18:30

参加費 **無 料**

講演者 **北村佳久氏** [立命館大学薬学部(創薬科学科)教授
(薬効解析科学研究室)]

神秘的な小宇宙、『脳』。しかし、老化、遺伝的原因などにより脳のホメオスタシスが破綻したとき、アルツハイマー病などの神経変性疾患を発生します。超少子高齢化社会を迎えた現在、老化とともに発症頻度の高まる神経変性疾患の治療薬開発は急務の課題であり、多くの製薬企業も参入していますが、特効薬はありません。本講演会では、私たちの身近でも経験しうる認知症、アルツハイマー病に焦点を当てて、専門家ならではの学術的な観点で、且つ一般の方にも分かりやすい内容で、発症メカニズムと根本的治療法の開発動向について語っていただきます。

お申し込み

「氏名 / 所属 / メールアドレス」をご明記の上、FAXまたはメールにてお申し込み下さい。
立命館大学BKCリサーチオフィス 立命館科学技術振興会 事務局 担当: 鶴重・福崎
TEL 077-561-2802 FAX 077-561-2811 MAIL aster@st.ritsumeai.ac.jp

みんないつかは認知症になる？

